

2010年6月22日

参 考 資 料

本資料は6月22日にニューヨークで発表されたプレスリリースの翻訳です

クレディ・スイスとダウ・ジョーンズ・インデックス ヘッジファンド指数で提携

「クレディ・スイス／トレモント・ヘッジファンド・インデックス」を「ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・ヘッジファンド・インデックス」に名称変更

クレディ・スイスとダウ・ジョーンズ・インデックス社は、本日、ヘッジファンド指数「クレディ・スイス／トレモント・ヘッジファンド・インデックス」の算出、ライセンス、営業に関する業務提携契約を締結しました。これにより「クレディ・スイス／トレモント・ヘッジファンド・インデックス」は「ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・ヘッジファンド・インデックス」に改称されます。指数の算出と営業販売はダウ・ジョーンズ・インデックス社が行い、クレディ・スイスは、これまで通り、指数と連動する金融商品の開発、運用を行います。現行の各指数の算出方法やルールはこれまで通りで変更はありません。

ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・ヘッジファンド・インデックスは、様々なマーケット指数と投資可能指数（インベスタブル指数）で構成され、いずれもヘッジファンドのパフォーマンスの捕捉を目的としています。最も優れた資産加重型ヘッジファンド指数の1つとして、5,000を超えるヘッジファンドのデータを基に算出され、ヘッジファンド業界の運用成績を正確に示すことを目指しています。現在、地域別、戦略別など17種類の指数があり、今後さらに拡充される予定です。現在の主要な指数は以下の通りです。

1. **ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・ヘッジファンド・インデックス**（別称ブロード・インデックス、旧称クレディ・スイス／トレモント・ヘッジファンド・インデックス）。ヘッジファンドの運用成績を測る資産加重型ベンチマークで、ヘッジファンド業界全体の運用成績を正確に示すことを目的としています。
2. **ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・オールヘッジ・インデックス**。ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・オールヘッジ・戦略別インデックス（旧称クレディ・スイス／トレモント・セクター・インベスト・インデックス）の全10指数で構成される投資可能指数で、ブロード・インデックスの戦略別組入比率を用いた加重平均で算出されます。
3. **ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・ブルーチップ・インデックス**（旧称クレディ・スイス／トレモント投資可能ヘッジファンド指数）。ブロード・インデックスを構成する10種類の投資戦略から最大60ファンドを抽出して構成される投資可能指数。

4. **ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス LEA インデックス**。新興市場のヘッジファンドのうち、特に南米、EEMEA（欧州新興国／中東／アフリカ）、アジアの3地域に関する資産加重型総合指数。

クレディ・スイス・インデックス社社長のオリバー・シュップは次のように述べています。「クレディ・スイスは10年以上前からヘッジファンド業界のリーダーとして、ヘッジファンドの運用成績分析に有効なツールやベンチマークを投資家に提供してきました。今回の提携は、クレディ・スイスのヘッジファンドに関するノウハウと、ダウ・ジョーンズ・インデックス社の技術および営業面の強みを融合するものです。業界最先端のベンチマークやオルタナティブ投資ソリューションの開発を共同で進めていきます」。

ダウ・ジョーンズ・インデックス社次期社長のマイケル・ペトロネラは次のように述べています。「ヘッジファンド業界大手のクレディ・スイスとインデックス大手のダウ・ジョーンズ・インデックス社は、提携を通じてこれまでにないパートナーシップ効果と優れた商品群を生み出します。我々のインデックスはヘッジファンドの運用成績についての優れたベンチマークとなります」。

クレディ・スイスの経営陣および実務担当者に変更はなく、オリバー・シュップがクレディ・スイス・インデックス社の社長にとどまります。指数はこれからもヘッジファンドの正確な全体像、高い透明性と監視能力、客観的分析を提供していきます。ダウ・ジョーンズ・インデックス社の現行ヘッジファンド指数は6月30日をもって廃止されます。クレディ・スイスとトレモント・キャピタル・マネジメント社の合弁事業は解消されました。

ダウ・ジョーンズ・クレディ・スイス・ヘッジファンド・インデックスの詳細は www.hedgeindex.com をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

クレディ・スイス
コーポレート・コミュニケーションズ
梶野 勇
Tel : 03-4550-9893
Email : isamu.kajino@credit-suisse.com